



山口県議会議員

藤生 おさむ

県政レポート
vol. 2

TOPIC

- ・ 9月定例議会で初の一般質問に登壇
- ・ 大雨の復旧費用など139億円余の補正予算案可決



ごあいさつ

平素よりお世話になっております。本号では、9月議会において初の一般質問に登壇しましたので、その内容を中心にご報告します。一般質問で意識したことは、自分なりの提案を入れることです。これからも躊躇せず、どんどん質問・意見をぶつけていきたいと思っておりますので、そのためにも引き続き皆様の声をお聴かせ下さい。

本号では一般質問の一部概要をご紹介しますが、県議会ホームページでは全ての録画が公開されています。是非、そちらもご覧ください！

一般質問項目

山口県議会 インターネット中継



1. ふるさと納税のマーケティングについて
2. 新しい資金調達と関係人口について
3. 若者の社会参加について
4. 農場試験場跡地利用について

9月定例議会 一般質問

ふるさと納税のマーケティングについて

▶ 質問

全国のふるさと納税額は1兆円に迫る中、本県はふるさと納税制度により税流出の状況。ふるさと納税受入額を高めるためのマーケティングについて、具体的、戦略的にどのように取り組まれるのか伺う。

▶ 答弁

県と市町が連携した取組を進める。具体的には、まず、県の寄附者に対して、新たにメールマガジン等を送付し、寄附者の関心に合わせた返礼品等の情報を提供するとともに、併せて市町のふるさと納税ウェブサイトへ直接アクセスできるリンクを設定するなど、市町の寄附拡大にもつなげていく。また、県外のふるさと納税関連イベントに県と市町が共同出展するなど、県外在住者に向けた新たなプロモーションを展開するとともに、県内外の先進的な取組の紹介や、効果的な情報発信等を行うためのマーケティング手法を学ぶ研修会の開催等についても検討する。



※税流出の構造

他の自治体へふるさと納税で寄附すると、居住自治体に本来納める住民税が減額されるため、実質的に自治体間で税の移動が生じる。これにより、返礼品やプロモーションなど競争力が弱い自治体は税流出となる。

提案



- ・ 県内市町の返礼品も扱う県独自のふるさと納税ポータルサイトを構築することで、県外大手ポータルサイト運営会社に流れる手数料を削減し、返礼品の「質と量」で他地域に対する競争力をオール山口で高める。
- ・ リアルな場（アンテナショップや駅・空港等の県外利用者の多い施設）での返礼品陳列・提供。特に年末の節税需要が高まる時期に力を入れる。
- ・ 寄附者データを活用し、リピート購入や新規獲得のためのマーケティングを行う。
- ・ 縦割りになっているふるさと納税関係部署の職員が兼務する形で横断的な組織をつくり、返礼品開発・審査、市町連携、プロモーションまでワンストップで対応する。

▶ 質問

基本計画策定に向け、民間活力導入に向けたサウンディング調査を実施されているところであるが、県外大手やその関係先に偏らないよう、県民や県内企業に対する透明性・公平性・納得性をどのように確保されていくのか伺う。



大内地区の農業試験場跡地

▶ 答弁

透明性・公平性に留意した上で実施する。具体的には、あらかじめ実施要領を公表し、跡地を利用する事業者を選定する段階で参加企業を有利に取り扱うものでないことを明示した上で、県内外の事業者幅広く参加を募る。また、調査実施後には、参加事業者の独自のノウハウに係る事項などを除き、結果の概要を公表するなど、透明性・公平性が損なわれることのないよう、適正に実施していく考えである。

提案



- 大内地区が抱える渋滞や治水面での課題を考慮しながら跡地利用を検討する必要があります。
- 上記課題や基本構想の中心である「多世代共生」という考え方をふまえ、「食と農」を軸にしたアグリテイメント施設（体験農園、見学可能な食品加工施設、地産地消レストラン等商業施設からなる複合施設）を一例として提案しました。
- イタリア ボローニャには「フィーコ・イーターリー・ワールド」というイタリア中の食材・料理を楽しむことのできる食のテーマパークがあり、世界中から人々が訪れています。

右記の質問は録画をご覧ください



- 若者の社会参加促進に向けて、①高校新必修科目「公共」の指導方針、②デジタルを活用した若者の意見反映について
- ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングなどの新しい資金調達と関係人口創出・拡大をどのように結び付けて進めていくのか

録画サイトへ



農林水産委員会での県外視察



山形県金山町森林組合
(林業成長産業化の取組)



山形大学農学部
(庄内スマートテロワールの取組)



秋田県水産振興センター
(県魚ハタハタなど水産資源管理)

産業脱炭素化推進特別委員会等

県内バイオマス発電所視察



第1回 産業脱炭素特別委員会

燃料アンモニアについて



次世代のクリーンエネルギーとして期待されているアンモニア。本県の特徴であるコンビナートの既存設備も活用したアンモニアサプライチェーン構築が検討されています。構想の中では、アンモニアの輸入を前提としていますが、外国でのアンモニア生産は必ずしもクリーンな方法とは限りません。また、船で輸送する過程でのCO2発生、さらに輸送コストや価格変動リスクもあります。エネルギー自給県、そして国にしていくため、例えば、コンビナートからの副生水素も活用したアンモニア生産など、エネルギー自給に向けた取り組みも必要ではないかと本委員会で投げかけました。

藤生おさむ事務所

〒754-0015 山口県山口市小郡大江町4番29号
TEL : 080-9067-9546 (事務所)
Mail : fuji@fujiawesome.work
HP : <https://fujiawesome.work/>

藤生おさむ 公式サイト

最新の活動はSNSやホームページで情報発信しています。
お気軽にご意見やご要望をお寄せください！

